



編集人 清水節義
発行人 塚田平治
発行所 白根町公民館
印刷所 白根活版所

白根町断想
及び商工業界

當日頃白根の町で商工業界を大なり小なり管見している人なら、誰しもが知り、誰しもが云うと云う言葉が誇大なら、大半以上が知っている言葉を文字で表して見ると、あながち無味ではなからうかと思ふ。以下その二、三を挙げてみよう。

先ず白根人は実に働きの者揃いと自他共に許している。近接町村の市日廻りに、又田舎へ行商へと、まさに雨が降ろうが雪が降ろうかと云う言葉が少しも誇張ではない程で、その努力と加ふるに天性備えし商才、商魂の輝きは近隣を照らし、余國にまで鳴り響かしている。余國にまで鳴り響かしている。余國にまで鳴り響かしている。

ゆくと、我が町を比較すると大きな変化があると云い得る。つまり、商工業界の発展と、農利一歩倒れの衰微とあり、農利一歩倒れの衰微とあり、農利一歩倒れの衰微とあり。

以上書いたことは白根人であつたら誰しもが知り、誰しもが云うはなからうかと思ふ。以下その二、三を挙げてみよう。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。また、この年間の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

場合、実に町の隆衰に影響と云う文字よりも左右支配されていると断言して敢てはばたき言てはなからうかと思ふ。以下その二、三を挙げてみよう。

以上書いたことは白根人であつたら誰しもが知り、誰しもが云うはなからうかと思ふ。以下その二、三を挙げてみよう。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上書いたことは白根人であつたら誰しもが知り、誰しもが云うはなからうかと思ふ。以下その二、三を挙げてみよう。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上書いたことは白根人であつたら誰しもが知り、誰しもが云うはなからうかと思ふ。以下その二、三を挙げてみよう。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上書いたことは白根人であつたら誰しもが知り、誰しもが云うはなからうかと思ふ。以下その二、三を挙げてみよう。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上書いたことは白根人であつたら誰しもが知り、誰しもが云うはなからうかと思ふ。以下その二、三を挙げてみよう。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

以上で私は文字通りの白根町断想を終らせたいと思ふ。明治十一年以降の町歩みは、古老に尋ねることのできる大なるものがある。

白根町略史 (1)

伊丹末雄

高野元年(一八六〇年)十五
慶應三年(一八六七年)十月
明治元年(一八六八年)常町
明治二年(一八六九年)名主
明治三年(一八七〇年)竹内
明治四年(一八七一年)名主
明治五年(一八七二年)五月
明治六年(一八七三年)一月十五
明治七年(一八七四年)一月十五
明治八年(一八七五年)小須戸町
明治九年(一八七六年)小須戸町
明治十年(一八七七年)小須戸町
明治十一年(一八七八年)小須戸町
明治十二年(一八七九年)小須戸町
明治十三年(一八八〇年)小須戸町
明治十四年(一八八一年)小須戸町
明治十五年(一八八二年)小須戸町
明治十六年(一八八三年)小須戸町
明治十七年(一八八四年)小須戸町
明治十八年(一八八五年)小須戸町
明治十九年(一八八六年)小須戸町
明治二十年(一八八七年)小須戸町
明治二十一年(一八八八年)小須戸町
明治二十二年(一八八九年)小須戸町
明治二十三年(一八九〇年)小須戸町
明治二十四年(一八九一年)小須戸町
明治二十五年(一八九二年)小須戸町
明治二十六年(一八九三年)小須戸町
明治二十七年(一八九四年)小須戸町
明治二十八年(一八九五年)小須戸町
明治二十九年(一八九六年)小須戸町
明治三十年(一八九七年)小須戸町
明治三十一年(一八九八年)小須戸町
明治三十二年(一八九九年)小須戸町
明治三十三年(一九〇〇年)小須戸町
明治三十四年(一九〇一年)小須戸町
明治三十五年(一九〇二年)小須戸町
明治三十六年(一九〇三年)小須戸町
明治三十七年(一九〇四年)小須戸町
明治三十八年(一九〇五年)小須戸町
明治三十九年(一九〇六年)小須戸町
明治四十年(一九〇七年)小須戸町
明治四十一年(一九〇八年)小須戸町
明治四十二年(一九〇九年)小須戸町
明治四十三年(一九一〇年)小須戸町
明治四十四年(一九一一年)小須戸町
明治四十五年(一九一二年)小須戸町
明治四十六年(一九一三年)小須戸町
明治四十七年(一九一四年)小須戸町
明治四十八年(一九一五年)小須戸町
明治四十九年(一九一六年)小須戸町
明治五十年(一九一七年)小須戸町
明治五十一年(一九一八年)小須戸町
明治五十二年(一九一九年)小須戸町
明治五十三年(一九二〇年)小須戸町
明治五十四年(一九二一年)小須戸町
明治五十五年(一九二二年)小須戸町
明治五十六年(一九二三年)小須戸町
明治五十七年(一九二四年)小須戸町
明治五十八年(一九二五年)小須戸町
明治五十九年(一九二六年)小須戸町
明治六十年(一九二七年)小須戸町
明治六十一年(一九二八年)小須戸町
明治六十二年(一九二九年)小須戸町
明治六十三年(一九三〇年)小須戸町
明治六十四年(一九三一年)小須戸町
明治六十五年(一九三二年)小須戸町
明治六十六年(一九三三年)小須戸町
明治六十七年(一九三四年)小須戸町
明治六十八年(一九三五年)小須戸町
明治六十九年(一九三六年)小須戸町
明治七十年(一九三七年)小須戸町
明治七十一年(一九三八年)小須戸町
明治七十二年(一九三九年)小須戸町
明治七十四年(一九四一年)小須戸町
明治七十五年(一九四二年)小須戸町
明治七十六年(一九四三年)小須戸町
明治七十七年(一九四四年)小須戸町
明治七十八年(一九四五年)小須戸町
明治七十九年(一九四六年)小須戸町
明治八十年(一九四七年)小須戸町
明治八十一年(一九四八年)小須戸町
明治八十二年(一九四九年)小須戸町
明治八十三年(一九五〇年)小須戸町
明治八十四年(一九五一年)小須戸町
明治八十五年(一九五二年)小須戸町
明治八十六年(一九五三年)小須戸町
明治八十七年(一九五四年)小須戸町
明治八十八年(一九五五年)小須戸町
明治八十九年(一九五六年)小須戸町
明治九十年(一九五七年)小須戸町
明治九十一年(一九五八年)小須戸町
明治九十二年(一九五九年)小須戸町
明治九十三年(一九六〇年)小須戸町
明治九十四年(一九六一年)小須戸町
明治九十五年(一九六二年)小須戸町
明治九十六年(一九六三年)小須戸町
明治九十七年(一九六四年)小須戸町
明治九十八年(一九六五年)小須戸町
明治九十九年(一九六六年)小須戸町
明治百年(一九六七年)小須戸町

皆さんの利用を待つ！
貸付の枠一五五万円に拡大

前号でお知らせ致しました白根町産業育成資金は現在までの申込件数三十八件中委員会で認められたもの二十七件金額で一五五万円をそれぞれ融通して只今の処満期になって返済済みのもの八件、この金額五九万円の成績となつております。

貸付期間の短かいのと金額で制限があるのが難点ですが、零細資金の性質上やむを得ないので何とか貸付に利用を工夫されて下さいます。

委員長上杉貞治、委員西村清一、阿部善一、岡根龍作、林榮助、小林昌平、鈴木龍男、小野昇、鈴木栄吉、第四銀行白根支店長、相互銀行白根支店長、白根町長

歳末を控えて
火の用心
戸じまり用心
心の用心

歳末を控えて、火の用心、戸じまり用心、心の用心。この時期は、火災の発生が多いため、火の用心が大切です。

戸じまり用心、心の用心。この時期は、心遣いも大切です。